

# 海を眺める

## 絶景展望台と 半島・岬の遊歩道

- 日本海に面した島根県には、隠岐の島をはじめ、海岸部を中心に多くの絶景ポイントがあります。
- 半島部や岬には遊歩道が整備され、歩いた人にしか見られない絶景が待ち受けています。体力づくり、健康づくりにも最適です。
- 《注意》海岸部の道はアップダウンがあります。落石や転落に注意し、山歩きに適した靴を準備しましょう。夏場の草刈時期前には、草が茂って歩けないことがあります。



摩天崖



那久岬



浜田海岸



鷺浦



多古の七つ穴



赤浦海岸

名 称	所在地	ワンポイント解説
摩天崖 展望台／遊歩道	西ノ島町	最高257mの崖の上から、隠岐を代表するダイナミックな風景が大パノラマで眺められる。摩天崖の上部から、通天橋が間近に見られる国賀浜に至る約2.3kmの遊歩道があり、放牧中の牛馬を間近に見つづ、絶景を眺めながら歩いて降りることも可能。「遊歩100選」選定地。(所要時間:片道約60分)。
赤尾展望所	西ノ島町	通天橋(つうてんきょう)と摩天崖(まてんがい)を遠くからまとめて眺めることのできる展望所。
鬼舞展望所	西ノ島町	西ノ島の南西部にある展望所で、知夫里島や中ノ島を眺めることができる。
海苔田鼻遊歩道	隠岐の島町	島後北部の岬、海苔田(のりた)鼻の先端に、鎧・兜のような特異な形をした「よろい岩」、「かぶと岩」がある。中村港から先端部まで歩道が整備されている。
白島崎 展望台／遊歩道	隠岐の島町	「白島(しらしま)海岸」の島々を展望台から一望することができる。遊歩道を歩けば、白島崎の先端まで行くことができる。
那久岬 展望台／遊歩道	隠岐の島町	島後の西端にあり、目と鼻の先に島前諸島が見える。特に、夕日の眺望がすばらしい。遊歩道を歩けば、岬の先端まで行くことができる。
浜田海岸遊歩道	浜田市	(1)生湯(うぶゆ)海水浴場から西へ約0.5km、(2)生湯トンネル東口付近から西へ約1.5km、それぞれ美しい海岸線に沿って、また(3)外ノ浦(とのうら)の市道終点から半島部に向かって片道約1km中国自然歩道で整備された遊歩道が続く。(所要時間:[1]片道約15分 [2]片道約1時間 [3]片道約30分) 石見海浜公園内の赤鼻にある展望台・遊歩道からの眺望もよい。
大麻山	浜田市	標高605mの山頂まで車で上れる。海岸に近い独立峰なので眺望がよく、山頂に立つ高さ10.2mの展望台からは、浜田～三隅の日本海が一望できる。神社の上下に中国自然歩道となっている登山道(遊歩道)もある。
琴ヶ浜	大田市	世界遺産石見銀山遺跡に近い琴ヶ浜は、歩くと「キュッ、キュッ」という音が鳴る「鳴り砂」の浜として有名である。国指定天然記念物。
日御碭 灯台／遊歩道	出雲市	島根半島西端にある高さ44mの日本一高い石造灯台は、中に入れて上まで階段で登れる最高の展望台でもある。「世界の灯台100選」に国内から5つ選ばれた中の1つで、立姿も美しい。灯台の周囲には、海岸に沿って周遊できる遊歩道も整備されている。
鷺浦 歩道	出雲市	島根半島西部の鷺浦集落から鷺浦灯台まで続く約2.5kmの遊歩道で、途中の分岐点で梅灘という浜辺に出ることも可能。鷺浦灯台からは眺めがすばらしい。途中、危険箇所(ロープあり)の通行には注意が必要。(所要時間:片道約60分)
赤浦海岸遊歩道	出雲市	島根半島西部の佐香コミュニティセンター西側から赤浦浜を経て坂浦漁港に至る約2kmの海岸線を歩く遊歩道で、「中国自然歩道」として整備された。赤浦浜は岩や石など底全体が赤っぽく見えるところから、この名がついた。(所要時間:片道約60分)
出雲北山縦走コース	出雲市	出雲北山縦走コースは、旅伏山-鼻高山-一万ヶ丸山-弥山と続く稜線を結ぶコースで、急坂のアップダウンが多く、全区間を歩くと8時間は要する。周辺は弥山を中心としてホンシュウジカの生息地でもある。鼻高山・旅伏山の山頂など眺望がよい。
松江北山縦走コース	松江市	松江北山縦走コースは、枕木山-三坂山-一澄水山-一大平山と続く稜線を結ぶ全長9kmのコース。標高502mの大平山山頂からは、日本海と宍道湖全体が同時に見られ、天気が良い日は隠岐島も遠望される。(所要時間:全区間で片道約4時間)
五本松・地蔵崎歩道	松江市	島根半島東端の地蔵崎と春のつづじ有名な五本松公園を結ぶ全長2.8kmの遊歩道。途中、馬着山山頂(標高210m)からの眺めがよい。(所要時間:片道約1時間)
マリンパーク多古鼻展望台 瀬崎多古鼻線歩道	松江市	「マリンパーク多古鼻」は、島根半島最北端の多古鼻にある宿泊施設で、展望台からは日の出も日の入りも見られる。多古鼻から瀬崎に通じる全長約3.5km(入口から1kmで車道に戻ることも可)の「瀬崎多古鼻線歩道」からは、海食洞穴「多古の七つ穴」を陸地から眺めることができる。「多古の七つ穴」は、高さ10~12mで洞穴内部が通じており、シーカヤックや小舟で通りぬけられる。